

教区会議長

第12組 極善寺住職 最上知道

今年も半年が過ぎ、お寺の新年度が始まりました。岐阜教区同朋会館建設の寄付も始まりました。3億5千万円が目標額です。その事業の大きさと金額の多さに、今、私は責任を感じています。これまで各地区、各寺で説明会をしてまいりました。

先日は教務所で会議を済ませてから所員と郡上の第14組にご寄付のお頼みに行ってきました。もう、夜の7時半頃でしたが、近隣の住職皆さん揃って見えました。その説明会で私が頭をぺこぺこ下げていましたら、ある住職にこう注意されました。「頭をぺこぺこする者は、建設の説明がつかず何か魂胆がある者がすることや。頭を下げるな。私は嫌いだ」と。

振り返って、私達はどうかでしょうか。正月には家族揃って神社仏閣に参り、家内安全や商売繁盛をぺこぺこ祈ります。法事をすれば、お経を上げて先祖の供養をぺこぺこ祈ります。私達は魂胆を隠して頭を下げているのではないのでしょうか。郡上からの帰り道、車の中で会の終わりに歌った、恩徳讃を歌ってきました。「如来大悲の恩徳は、身を粉にしても報ずべし」、その時ハッと気がつきました。

「身を粉にしても報ずべし」とは「頭をさげる」のではなく「頭が下がる」のだということに。

夜遅く仕事に疲れた住職が集まって、長い説明を聞いてくださり、困り果てながら、ご門徒さんにご寄付をお頼みくださいます。ご門徒さんは本山、お手次寺ばかりか教区にもご寄付をしてくださいます。如来のご配慮に、私の頭が下がり、ご注意くださいことに思わず涙が出てまいりました。